

## 令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・児童が体育の学習に意欲的に取り組むことができた。
- ・準備や片付けを進んで行うことができた。

#### (2) 課題

- ・意欲的に運動に取り組む児童とそうでない児童の二極化が見られる。運動に対する苦手意識が強く、消極的になっている。
- ・得意な児童、苦手な児童の技能差が大きい。

### 2 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○「遊び」ながら知識・技能が身に付くように教材研究を行うことを大切にする。 ○児童が楽しみながら技能を身に付けられる教材教具の準備をするようにする。	○自らの力に応じて練習の仕方や、場を選択できるように環境を整えられるようにする。 ○友達のよい動きについて発表する時間を設けるようにする。	○安全に楽しく活動するために、きまりを守ることの大切さを繰り返し指導する。 ○互いに称賛し合えるような指導をする。

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○幅広い運動知識・技能を身に付けられるように、教材教具の準備、教材研究を行う。	○学習カードや掲示物、ICT 機器を用いて、自己の能力に適した課題を見付けたり、課題解決のために活動の場を選べるようにしたりする。	○きまりを守って誰とでも仲よく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 ○友達の考えを認めることができるようにする。

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○得意・不得意の差が見られる。それぞれの児童の実態に合った場を設けることで技能の習得を目指せるようにする。	○学習カードや掲示物、ICT 機器を用いて、自己の能力に適した課題を見付けたり、課題解決のために活動の場を選べるようにしたりする。 ○グループで課題やポイントを伝い合える時間を設けるようにする。	○ルールを守り助け合って運動したり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 ○仲間の考えを認めることができるように指導する。